

(様式 1-3)

福島県（飯舘村）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	9	事業名	災害公営住宅大谷地団地建替え事業	事業番号	(1)-1-1
交付団体	飯舘村	事業実施主体（直接/間接）	飯舘村（直接）		
総交付対象事業費	222,780（千円）	全体事業費	1,253,460（千円）		
帰還環境整備に関する目標					
<p>原子力災害による全村避難以降、飯舘村は、平成 23 年 12 月に“村民一人ひとりの復興を目指す”ことを基本理念とする「いいたてまでいな復興計画（第 1 版）」を策定し、その後半年毎に計画の見直しを実施しており、現在、第 5 版の策定を進めている。</p> <p>いいたてまでいな復興計画（第 4 版）では、帰村に向けて、村営住宅の供給見通しの見直し及び村営住宅の需要見通しの調査を実施し、飯舘村村営住宅整備計画の策定を行っている。</p> <p>村営住宅の整備においては、今後、帰村への段階毎に、村民の入居意向を把握し、適切な戸数を確保することが必要である。</p> <p>また、避難前後の世帯構成の変化、今後増加するとみられる高齢者の独り暮らしへの対応等も配慮し、多様な暮らしに対応できる村内の村営住宅の整備を進めていくものである。</p>					
事業概要					
<p>いいたてまでいな復興計画（第 4 版）において策定された飯舘村村営住宅整備計画を踏まえ、第一段階として、村営住宅大谷地団地の建替え整備を行う。</p> <p>飯舘村では、①現在も全村避難の状況であり、5 年に渡る長期間、住宅を十分に管理できない状況が続いたため、住宅の劣化が著しいこと、②村の公営住宅入居に係るアンケート調査結果等によれば、震災前の世帯構成と比べて高齢者の割合が高くなることが想定され、高齢者世帯に安心・安全な住環境を整え、一人でも多くの村民の帰村を促していく必要があることから、住宅の建替えを行うこととしている。</p> <p>大谷地団地の入居者に対する帰村後の再入居の意向調査も踏まえ、大谷地団地 54 戸のうち 16～20 戸を整備戸数目標とし、当面は 8 戸を団地内公園の敷地に新築することにより、団地整備を進める。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 26 年度繰越>※福島再生加速化交付金事業</p> <p>(1) 大谷地団地建替え土木測量設計</p> <p><平成 27 年度></p> <p>(1) 大谷地団地 1 期建設工事</p> <p>(2) 大谷地団地 1 期建設工事監理業務</p> <p>(3) 大谷地団地 2 期実施設計業務</p> <p>(4) 大谷地団地既存住宅 1 期解体設計業務</p> <p>(5) 大谷地団地既存住宅 1 期解体工事</p> <p>(6) 大谷地団地 1 期造成工事（調整池）</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>飯舘村の再生・復興のためには、幅広い世代の村民の帰村が重要な課題の一つである。</p> <p>原子力災害による全村避難により、荒廃した住環境の整備に取り組み、住み慣れた村を再興することにより、より多くの村民の帰村を促すものである。</p> <p>全村避難により変化した世帯構成や増加する高齢者の独り暮らし等への対応、地域コミュニティの再構築への貢献、防災拠点としての役割に資するものとして、村営住宅整備を進める。</p>					
関連する事業の概要					
<p>平成 25 年度福島再生加速化交付金事業により、大谷地団地建替団地全体基本設計及び 1 期工事の実施設計、土木測量設計業務を実施。（土木測量設計については繰越事業として本年度も実施）</p> <p>※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。</p>					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

福島県（飯舘村）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	10	事業名	災害公営住宅大谷地団地駐車場整備事業		事業番号	◆(1)-1-1
交付団体		飯舘村	事業実施主体（直接/間接）		飯舘村（直接）	
総交付対象事業費		1,400（千円）	全体事業費		13,160（千円）	
帰還環境整備に関する目標						
<p>原子力災害による全村避難以降、飯舘村は、平成 23 年 12 月に“村民一人ひとりの復興を目指す”ことを基本理念とする「いいたてまでいな復興計画（第 1 版）」を策定し、その後半年毎に計画の見直しを実施しており、現在、第 5 版の策定を進めている。</p> <p>いいたてまでいな復興計画（第 4 版）では、帰村に向けて、村営住宅の供給見通しの見直し及び村営住宅の需要見通しの調査を実施し、飯舘村村営住宅整備計画の策定を行っている。</p> <p>村営住宅の整備においては、今後、帰村への段階毎に、村民の入居意向を把握し、適切な戸数を確保することが必要である。</p> <p>また、避難前後の世帯構成の変化、今後増加するとみられる高齢者の独り暮らしへの対応等も配慮し、多様な暮らしに対応できる村内の村営住宅の整備を進めていくものである。</p>						
事業概要						
<p>飯舘村は、地理的条件や生活環境などから自動車保有台数が全国的にも高く、既存団地入居者も複数台所有している世帯が多数であることから、災害公営住宅の整備と併せ駐車場を 1 戸あたり 2 台整備し、団地内の居住性・利便性の向上を図るとともに、近い将来の高齢化に備え車椅子対応の駐車スペースを新設する。1 期工事として、普通車用駐車場 12 台、車椅子対応駐車場 4 台の計 16 台分を整備する。</p>						
当面の事業概要						
<p><平成 27 年度></p> <p>大谷地団地 1 期駐車場整備</p>						
地域の帰還環境整備との関係						
<p>飯舘村の再生・復興のためには、幅広い世代の村民の帰村が重要な課題の一つである。</p> <p>原子力災害による全村避難により、荒廃した住環境の整備に取り組み、住み慣れた村を再興することにより、より多くの村民の帰村を促すものである。</p> <p>全村避難により変化した世帯構成や増加する高齢者の独り暮らし等への対応、地域コミュニティの再構築への貢献、防災拠点としての役割に資するものとして、村営住宅整備を進める。</p>						
関連する事業の概要						
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。						
関連する基幹事業						
事業番号	(1)-1-1					
事業名	災害公営住宅大谷地団建替え事業					
交付団体	飯舘村					
基幹事業との関連性						
災害公営住宅大谷地団地建替えに伴い、駐車場を整備する。						